

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：25509

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇全国学力・学習状況調査の教科では、「国語・理科の学習に対して、高い関心と理解度をもっている児童が多い。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」などの点について実感している児童が多い。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている」などの点について良さを実感している児童が多い。</p>	<p>◇全国学力・学習状況調査の教科では、「算数・理科の授業で学習したことを、普段の学習で活用できている」「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」などの項目では、そう考える児童が全国平均を下回っている。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、「1時間以上家庭学習（学校以外の学習）をしている」に該当する児童が全国平均を下回っている。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、5年生までの授業で「ICT機器を使って楽しみながら学習をしている」「毎日ICT機器を授業で使っている」「ICT機器を使って友達と協力しながら学習している」と考えている児童が全国平均を下回っている。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができる」と実感している児童が多い。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査の「児童質問調査」より、「自分とは違う意見について考えるのが楽しい」「友達関係に満足している」など、相互承認の良さからくる、よりよい人間関係の中で学習活動に取り組む姿が見える。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 **生きて働く「思考力・判断力・表現力」の育成**

取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	<p>(1) 研究主題を「主体的に学び 高め合う子どもの育成」～共に学ぶ喜びを実感する授業づくりを通して～とし、年間4回の全校研や校内研修を通して、教師が協働して学ぶ場を設定する。</p> <p>(2) 子どもが自ら考え意欲的に取り組むことができる教材化を工夫する。<u>ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境設定（一人一人を大切にしたい学び）</u></p> <p>(3) 学び合いを豊かにする教師の関わりを工夫する。考えの価値づけ（多様性の包摂）</p>	<p>①「子どもの声を聴く」場の設定として、学級会活動や委員会活動の充実を図る。</p> <p>②年間を通して縦割り活動の充実を図る。遠足で、縦割りグループでの活動を重視する。</p> <p>③パートナー校との連携を図り、児童と生徒の交流の場を設定する。</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>		
<p>◇ICTを活用し、児童が自ら課題を見つけ、多様な情報から解決策を探求し、他所と意見交換しながら結論を導き出す学習活動の充実を図る。</p> <p>◇校内研修やパートナー校との交流を通して、効果的なICT機器の活用についての研修を実施する。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

